

# 一般質問通告書

④

多可町議会議長 河崎 一 様  
 多可町議会議員 安田昇司



平成26年9月3日

受  
領

午前

10時20分

午後

## 質問の項目及び要旨

## 答弁を求める者

1. ふるさと納税を積極的に展開しては

町長

ふるさと納税を積極的に展開してはどうでしょうか。多可町は、「ふるさと多可町応援寄付金」との呼び方で実施されていますが、これの、さらなる積極的な展開が、地域活性化の大きな力に結びつかないでしょうか。

現状を見てもと全国のどこでもやっているのも多可町も、その波に乗り遅れないように程度の実施状況と思います。

これを、この際、大きな財源確保及び地域おこしに結びつける展開は、そんなに困難なことではなく容易にできるように思いますが如何でしょうか。

我が家にも、今年の盆に弟や子供たちが帰って来ました。話の中で、少子・高齢化が町にも、集落にも、そして何より我が家にも来ているとの話になりました。そこで、ふるさと納税の話が出て、どうすれば良いのか。となりました。この、我が家での盆の話友達にしますと、誰もが何となく聞いたことは。あるが、そう言えば盆前の文字放送でも見たような？気もすると言った人もありました。そこで、パソコンを開いてみますと全国には積極的に取り組んで大きな成果を出しておられる町村もあります。

1. 簡単に取り組める方法として、役場職員全員からの発信はどうでしょうか。

250人の職員が1人当たり5人の町外者に発信すれば1250人もの人ができます。仮に平均3万円を寄附してもらおうと3750万円もの金額になります。

お礼は奮発して仮に1万円でコシヒカリ10キログラムとしても3万円の寄付金で2万円程度は残る試算もできます。それよりも、何よりも、この町から出た人に、ふるさとを再認識してもらおう良い機会になりますし、特産品を知ってもらうことも出来ます。また、地元生産者にも作る意欲も出てくると思います。

2. 町外から多可町へ勤務されている職員も20名程度はあるかと思いますが、この職員は、未実施でしたら、すぐにでも、ふるさと納税への協力を呼びかけるべきだと思います。

3. 多可町の寄附口数は5000円が1口となっています。特産品も6セットのようですが、これに、是非コシヒカリを加えて欲しい。また、お返しセット金額の増額等見直しも必要かなと、とにかく、ふるさと納税をしてみたいくなるような気持、寄付者への満足感のようなものも見直すべきだと思います。

こう見ますと、やる気さえあれば、簡単に取り組めるように思いますがどうでしょうか。単純に1250人の人からの3750万円の寄付金で、1万円程度のお返しは寄附する人には、故郷・田舎に寄せるさらなる郷愁や期待感も生まれる。また町も単純試算で2500万円程度も残り大きな一般財源となり、一方では大きな特産品開発ともなります。こうしてリピーターを作り、さらに絆の輪を大きく育てることが、多可町版の地域創生にもなり活力を生む地域活性化に大きく結びつくと思いますが、町長の見解を求めます。

2. 地域局のあり方求められる仕事は何か

町長

平成25年9月議会でも、「地域局のあり方を考えるべき」と一般質問しましたが、今一度、地域局のあり方求められる仕事について質問します。

1. 集落実施事業等で小さい規模のものは、地域局で承認・実施できる。このことが決裁できる地域局長（課長級）を配置する。加えて地域局長権限で判断できる範囲の予算を持たす。合併時段階で想定した力のある地域局とする。必要なら、中区にも地域局（兼務で可）を設置する。予算は1局500万円程度でも良い。

2. 区内の指定管理施設の管理・指導は地域局長権限とする。（指定管理施設に担当課長が来ていることは、ほとんど見かけないように思う）

3. 逆に、窓口事務とプラザ公民館管理だけにする。

等々、合併して9年が経過して地域局のあり方も根本的に見直すべき時が来ていると考えます。

昨年も次年度の予算樹立も考慮して9月に質問したのですが、結果は、まあまあ現況のままに様子を見るとなると26年度が進んでいます。政府でも少子高齢化や財政状況の弱体化で地域活性化が声高に取り上げられています。

事業仕分けでの厳しい判断の理解もできます、まだまだ更なる厳しさも十分に考えられます。これ等を踏まえると時間はありません。

今、地域局のあり方求められる仕事は何か。について町長の見解を求めます。

☆ 一般質問の通告期限は9月12日（金）午後0時00分までです。

質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。